

2026 年 9 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 Laboro. AI
代表者名 代表取締役 CEO 椎橋 徹夫
(コード番号：5586 東証グロース市場)
問合せ先 執行役員 CFO 谷山 太郎
(TEL 03-6280-6564)

株式会社マテリアル・コンセプトとの業務提携 及び第三者割当増資引受に関するお知らせ

当社は、2026 年 9 月 28 日開催の取締役会において、株式会社マテリアル・コンセプトと業務提携及び第三者割当増資引受に関する契約を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 業務提携及び第三者割当増資引受の理由

当社は、「すべての産業の新たな姿をつくる。」「テクノロジーと、ビジネスをつなぐ。」をミッションに掲げ、顧客固有のデータやノウハウをベースとしたオーダーメイド型 AI「カスタム AI」の開発・提供を通じて、企業のバリューアップを支援しております。また、今後の注力領域として半導体産業をはじめとする先端モノづくり領域を位置付けており、当該領域における知見の蓄積及び AI エージェント技術基盤の強化を推進しております。

対象会社である株式会社マテリアル・コンセプト（以下、「マテリアル・コンセプト社」）は、東北大学大学院工学研究科の研究成果を基盤として設立された大学発ベンチャーであり、半導体や太陽電池セル等の配線・電極形成に用いられる銅ペーストをはじめとする導電性ペーストの研究・開発・製造において、高い技術力を保有しております。

材料開発分野は、原料の配合量や焼成※1 条件等のパラメータが複雑に絡み合うため、データの構造化やモデル化が難しい領域です。本件業務提携により、マテリアル・コンセプト社が保有する優れたノウハウや評価データに当社の AI 技術及び独自の「ソリューションデザイン」のノウハウを集約した AI エージェント技術基盤を統合・導入することで、同社における製品開発スピードの向上、顧客要求仕様への即応性強化、生産工程の自動化・自律化を目指すとともに、この取り組みで得られた汎用的な知見により当社の技術基盤の機能改善に努めます。

また、単一の受託プロジェクトに留まらず資本参加を伴う長期的なパートナーシップを構築することを決めた背景は以下のとおりです。先端モノづくり領域での成果創出は実験・製造現場にどれだけ深く踏み込めるかに左右され、技術の確立から社会実装までの期間が長くそれに伴走する体制を必要とすることから、長期的かつ密に関与できる関係がより適した形態であると判断いたしました。また、当社の事業は顧客企業からプロジェクトを受託するビジネスモデルで成り立っていましたが、出資や M&A を通じて対象企業の事業成長の不確実性のリスクを当社自らも負いつつ、企業価値の向上から得られる果実を共創パートナーと当社の間で分かち合う枠組みを作ることを目指しています。今回の資本参加はその先駆的な取り組みとして、本件を機に今後も出資や M&A 等の資本戦略を活用し、産業の本質的な価値向上に関わる取り組みを増やしていくことを目指してまいります。

※1 塗布したペーストを加熱し、導電性を持つ配線・電極を形成する工程。

2. 業務提携及び第三者割当増資引受の内容

(1) 業務提携の内容

本業務提携を通じて、以下の 3 点を軸に協業を進める予定です。

① 導電性ペースト製造のための材料配合レシピの最適化と開発・評価サイクルの短縮

製造プロセスや配合パラメータの最適化および品質・再現性の向上のための AI モデルを構築し、プロセス条件と得られた特性データを構造化して蓄積し、当社の技術基盤上で条件探索を支援することで、実験の反復に依存してきた探索の一部を AI が担い、顧客の要求仕様に対する即応性を強化することを目指します。また、事業状況に応じては、同社が現在注力している太陽電池やパワー半導体領域にとどまらず、エレクトロニクス領域における多様な基板素材や異なる仕様に応じた新用途・新ラインナップへの展開を目指します。

② フィジカル AI による実験・製造プロセスの自動化・自律化

AI による条件探索の成果を、物理空間での実行にまで接続していく取り組みとして、開発段階における実験・評価作業の自動化を起点に、量産立ち上げ時の製造プロセスの自動化・自律化へ展開するためのロボット・センサー等の導入に向けた戦略ロードマップを策定し、PoC を実施いたします。

③ 暗黙知の構造化と当社技術基盤の機能改善

技術者の判断の前提にある概念とその関係をオントロジー※2 として整理することで、これまで言語化されてこなかった暗黙知を AI が参照・再利用できる形へと構造化する試みを実施し、ここで得られた汎用的なノウハウを当社の技術基盤のナレッジとして蓄積し、半導体をはじめとする他の先端モノづくり領域へも拡張展開することを目指します。

※2 概念や知識の構造を、コンピュータが扱える形で表現したもの。

(2) 新たに取得する相手方の株式又は持分の取得価額

当社は、株式会社マテリアル・コンセプトが実施する第三者割当増資を引き受ける方法により、同社 C 種優先株式 304 株（2026 年 9 月 28 日時点の同社発行株式（自己株式を除く）に対する割合 4.5%）を取得価額 100,320,000 円で取得します。

3. 業務提携の相手先の概要

(1)	名称	株式会社マテリアル・コンセプト		
(2)	所在地	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1-201		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 小池 美穂		
(4)	事業内容	銅ペースト及び新電極材料の研究・開発・製造・販売		
(5)	資本金	3.5 億円		
(6)	設立年月日	2013 年 4 月 8 日		
(7)	大株主及び持株比率	JX 金属株式会社 46.1% 小池美穂 26.7% アルコニックスベンチャーズ株式会社 9.0% AUTOWELL 日本株式会社 7.4%		
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
		人 的 関 係	当社の執行役員 CAO（最高アライアンス責任者）の松藤 洋介が当該会社の社外取締役を兼任しております。	
		取 引 関 係	現時点で当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。今後、当該会社の導電性ペーストの製造・開発の AI 導入にあたり、開発プロジェクト等での取引が発生する可能性があります。	
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(9)	当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態			
	決算期	2024 年 3 期	2025 年 3 期	2026 年 3 期
	連 結 純 資 産	(※) 当事者間の守秘義務契約に基づき、経営成績及び財政状態についての公表は差し控えさせていただきます。		
	連 結 総 資 産			
	1 株 当 たり 連 結 純 資 産			

連 結 売 上 高	
連 結 営 業 利 益	
連 結 経 常 利 益	
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	
1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益	
1 株 当 たり 配 当 金	

(※) 当該会社は非上場企業であり、財務情報及び株主情報を公開していないことから、当事者間の守秘義務契約に基づき、「最近３年間の経営成績及び財政状態」は非開示とさせていただきます。なお、本出資の金額は当社の2026年9月期第3四半期末の連結純資産の約４％であり、当社の連結業績に与える影響は軽微です。また、当社は当該会社の財務内容に関して、第三者機関も活用して必要なデューデリジェンスを実施しており、当該会社の財務内容に重大な問題がないことを確認しております。

4. 日 程

(1) 取 締 役 会 決 議 日	2026 年 9 月 28 日
(2) 契 約 締 結 日	2026 年 9 月 29 日
(3) 事 業 開 始 日	2026 年 10 月 1 日 (予定)

5. 今後の見通し

本資本業務提携に伴う事業開始日は2026年10月1日を予定しており、当社の2026年9月期連結業績に与える影響は軽微です。また、2027年9月期連結業績に与える影響につきましても軽微と見込んでおりますが、今後、開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以 上